



「帰りましょう」 撮影 / 池田 美佐子

ピンボケ会

若き日の父の手料理甘藷ぜんざい
駅に入る一人一人の秋の暮

原口 孝子
摩治 廣子

本選

色鳥や王墓の杜に旅やどり
苛烈なる奥羽の水禍秋の暮

花田ムツ子
野上マチ子

特選

俳句会

(十月例会)

大庭土筆選

短歌会

(十一月例会)

藤村 学選

少しづつ季節の移る秋なれと庭のトマトは青い実のまま
あかとき白みはじめる酔芙蓉夕暮れ時は赤く萎める
亡き夫が植ゑし庭木にキジ鳩の古巢の揺るるかぜの晩秋
ひよっとこ面のかくし芸には腹かかへ笑ひたえない地区敬老会
間引かれた大根のぶん頑張れと我はせつせと土寄せしをり

茂手木こ子
原 哲子
河上美代子
木原トシ子
神崎 鈴子

10月30日 福岡県社会福祉大会式典にて 桂川町支会・社会福祉施設職員が受賞

クローバープラザ(春日市)で開催された「福岡県社会福祉大会」の式典に、桂川町社会福祉協議会役員など9名が参加しました。共同募金会桂川町支会が「優秀地区表彰」、特別養護老人ホーム第二白藤の苑の山田



真弓さん、明日香園の谷口裕司さんと江藤恵さんが「社会福祉事業特別功労者表彰」を受けられました。

10月29日 いざという時のために 笹尾一区AED講習会開催

笹尾一区では、救急時における応急処置体制を図るために、公民館に自動体外式除細動器(AED)を令和元年6月11日に設置しました。設置に伴い、飯塚消防署の方を講師に招き救命講習会を開催し、地元



住民の方16名が参加し、心肺蘇生・AEDの使用方法などを学びました。

11月15~17日 天道ミニ文化祭開催 多くの来場者で大盛況!

天道区では、11月15日~17日の3日間、公民館でミニ文化祭を開催。毎月第1・第3金曜日に実施している「くまさんの絵手紙教室」や、写真、手芸など各自日頃の成果を披露。会場では、ぜんざいなどが振



る舞われ、地域や町内から多くの方が訪れ賑わいました。

編集*後記 Editorial Postscript

▶【子どもは一日に何回笑う?】

以前、「子どもは一日に400回笑うが、大人になると15回に減る」というCMを見ました。その事をふと思い出し、私の娘がどのくらい笑うのか計測してみることにしました。結果は計測不能。30分ほどしか数えていませんが、小さな笑いでいれると一日1000回以上は笑っているかもしれません。そんな娘を見て、私たち夫婦にも自然と笑みがこぼれます。子どものお陰で私たちの家族には、たくさんの笑いが生まれています。

「笑う」という感情は人間にしかない感情です。そう考えると人間に生まれたからには、たくさんの笑いの中で生きていくことが「人間だけの幸せ」なのかなと私は思っています。私の周りがたくさんの笑顔で溢れる、そんな幸せな日々が続けば良いと思います。(上田 耕太郎)